

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	無期限（設定日：2023年10月6日）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、世界各国・地域の株式へ投資することにより、安定した配当収入の確保とともに長期的な信託財産の成長を図ることを目標として運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 グローバル好配当株マザーファンド 世界各国の株式
当ファンドの運用方法	■世界主要国・地域の好配当株式に分散投資します。 ■3つの地域に均等投資します。 ■北米地域／欧州地域／アジア・オセアニア地域への投資比率は、概ね均等とすることを基本とします。 ■実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 グローバル好配当株マザーファンド ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■年1回（原則として毎年1月8日、休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。（基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。）</div>

グローバル 好配当株オープン (年1回決算型) 【運用報告書(全体版)】

(2023年10月6日から2024年1月9日まで)

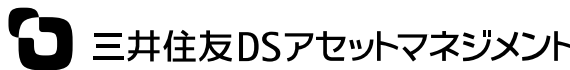
第 **1** 期
決算日 2024年1月9日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、世界各国・地域の株式へ投資することにより、安定した配当収入の確保とともに長期的な信託財産の成長を図ることを目標として運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

グローバル好配当株オープン（年1回決算型）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			(参 考 指 数) MSCIワールド・インデックス (配当込み、円換算ベース)		株 式 組 入 率 比	投 資 信 託 入 率 証 券 組 比	純 資 産 額 総
	(分配落)	税 込 金 配 分	期 騰 落 率	期 騰 落 率	期 騰 落 率			
(設 定 日) 2023年10月6日	円 10,000	円 —	% —	100.00	% —	% —	% —	百万円 1
1期(2024年1月9日)	10,768	0	7.7	108.83	8.8	94.9	1.7	121

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) MSCIワールド・インデックス (配当込み、円換算ベース)		株 式 組 入 率 比	投 資 信 託 入 率 証 券 組 比	純 資 産 額 総
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
(設 定 日) 2023年10月6日	円 10,000	% —	100.00	% —	% —	% —	
10月末	9,878	△1.2	98.47	△1.5	95.7	1.5	
11月末	10,575	5.8	106.06	6.1	96.6	1.7	
12月末	10,825	8.3	108.01	8.0	94.7	1.8	
(期 末) 2024年1月9日	10,768	7.7	108.83	8.8	94.9	1.7	

※騰落率は設定日比です。

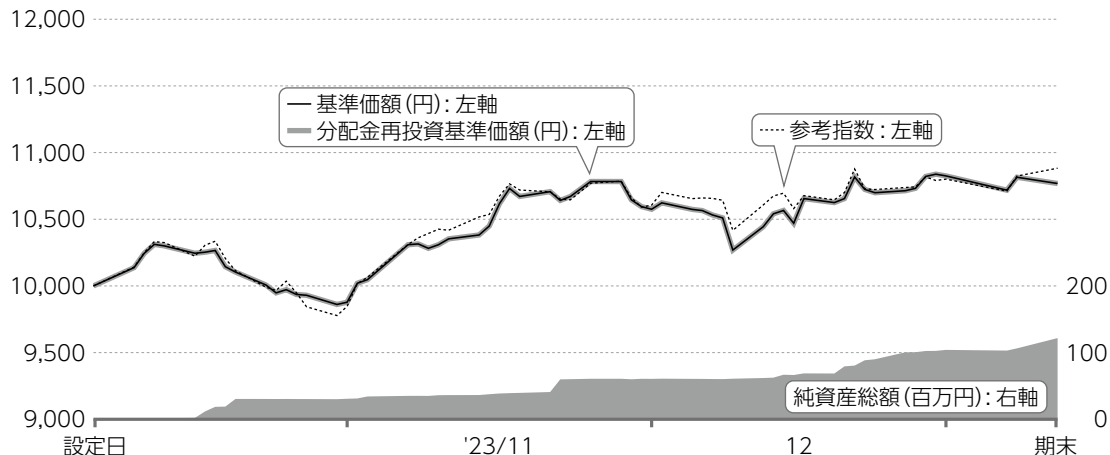
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2023年10月6日から2024年1月9日まで）

基準価額等の推移



※参考指数は、設定日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

設定日	10,000円
期末	10,768円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+7.7% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、MSCIワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

グローバル好配当株オープン（年1回決算型）

基準価額の主な変動要因(2023年10月6日から2024年1月9日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の好配当株式へ分散投資しました。

上昇要因

- 期末にかけて、インフレ鈍化を受けた長期金利(10年国債利回り)の低下や良好な企業業績を背景にグローバル株式市場が上昇したこと

下落要因

- 期間を通じて米ドルに対し、円高で推移したこと
- 期初に欧米の長期金利の上昇や中東における地政学リスクへの懸念からグローバル株式市場が下落したこと

投資環境について（2023年10月6日から2024年1月9日まで）

グローバル株式市場は上昇しました。また、為替市場では、米ドルに対し円高となりました。

グローバル株式市場

期初は下落しました。市場予想を上回る消費者物価指数を受けた利上げ打ち止め期待の後退から長期金利が上昇し、株式市場は上値が重い展開となりました。加えて、中東でパレスチナの武装勢力（ハマス）がイスラエルを攻撃したことによる地政学リスクの高まりも投資家心理を圧迫しました。

その後は、期末にかけて反発しました。インフレ鈍化を受けた長期金利の低下や良好な企業業績を好感し上昇しました。12月中旬に開催されたFOMC（米連邦公開市場

委員会）で2024年の金融緩和への転換観測が強まると一段高となりました。

為替市場

円は、期中にかけ概ね横ばいに推移しましたが、米インフレ指標の鈍化、FOMCを受けた早期の利下げ観測などを受けて米金利が低下し、また、日銀の植田総裁の発言を受けて早期のマイナス金利解除の思惑が広まりました。期初と比較して米ドル安・円高となりました。

ポートフォリオについて（2023年10月6日から2024年1月9日まで）

当ファンド

主要投資対象である「グローバル好配当株マザーファンド」を、期間を通じて高位に組み入れました。

グローバル好配当株マザーファンド

配当利回りと向こう数年の配当成長に着目し、流動性や財務安定性にも留意した運用を継続しました。また、ポートフォリオ全体としての配当利回りを一定水準以上に維持しました。期間を通じて株式組入比率は高位を維持しました。

グローバル好配当株オープン（年1回決算型）

地域配分においては、北米、欧州、アジア・オセアニア地域での投資割合をほぼ均等に維持しました。

業種配分においては、エネルギーや半導体・同製造装置を多めに保有しましたが、いずれの業種においても、業績動向が比較的安定している、ディフェンシブ(景気変動の影響を受けにくい)な銘柄に軸足を置き、減配リスクを考慮した運用を行いました。

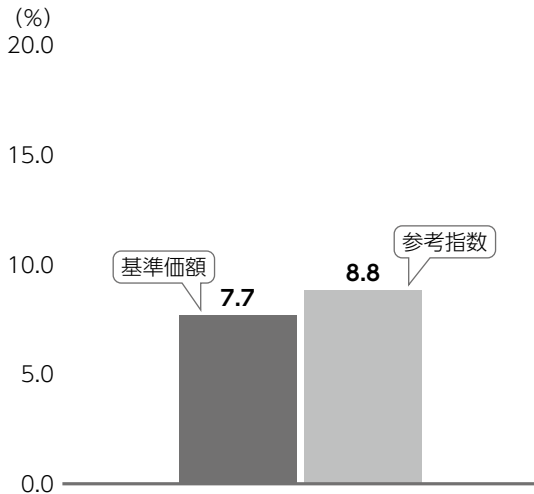
期中では、業績に鈍化がみられる高級ブランドを保有するフランスのコングロマ

リット(複合企業)や、保有する上水道事業は底堅いものの、投資先の排水処理事業者の業績懸念がある中国の水道事業者の株式を一部売却しました。また、中国の不動産不況は早期解決が難しいとの見方から、香港上場の中国不動産大手を全売却しました。

一方、安定的な事業規模の拡大が続く、直接融資、プライベート資産や不動産などのオルタナティブ(代替)分野に強みを持つ米国の運用会社を買い増しました。

ベンチマークとの差異について(2023年10月6日から2024年1月9日まで)

基準価額と参考指数の騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークを設けておりませんが、参考指数としてMSCIワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)を設けています。

記載のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

分配金について（2023年10月6日から2024年1月9日まで）

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第1期
当期分配金	0
（対基準価額比率）	（0.00％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	767

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りとしたしました。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、「グローバル好配当株マザーファンド」への投資を通じて、世界各国の好配当株式へ分散投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。

グローバル好配当株マザーファンド

2023年の先進国株式市場は業績改善や金融政策転換への期待から堅調に推移しました。2024年はインフレ指標の動きや米国の大統領選挙などの政治動向、地政学リスク

に注意が必要ですが、金融緩和から2024年後半以降の景気回復、企業業績の改善が見込まれます。

ディフェンシブ事業を持つ銘柄をポートフォリオの中核に置きながら、業績・配当面で上方修正の余地があると考えられる銘柄の新規組入れや保有ウェイトの引上げを検討します。

当マザーファンドは、過去の実績や経営陣の手腕などからの判断する「質の高い企業」の中から、主に配当利回りと今後の配当成長性に着目し、財務の安定性や流動性を十分に考慮したうえで、世界各国の市場平均と比べて相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。また、企業の収益動

グローバル好配当株オープン（年1回決算型）

向や配当政策などの変化に注目し、今後の継続的な増配が見込める企業へも投資します。引き続き、以下の3点を重視します。

1. 「経営実績や経営陣などの「会社の質」と配当実績が優れていること」
2. 「数年先までの成長持続性、売上げやキャッシュフロー成長の確実度が高いこと」
3. 「今後の資本政策、特に配当を含む株主還元のスタンスが明確なこと」

「好配当株」企業への投資は、足元の相対的な配当利回りが高いだけでなく、今後、

長期にわたり増配が続くという、「配当の成長」が重要です。

優れた経営を実践している「質の高い」企業は配当政策など株主還元への姿勢も明確であり、投資家は定期的に配当収入を受け取りながら中長期の企業価値の成長(キャピタルゲイン)からも恩恵を受けることができます。

昨今の投資環境の変化を受けて、安定的な値動きに加えて、配当成長が期待できる「好配当株」投資が注目される展開を予想します。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

グローバル好配当株オープン（年1回決算型）

1万口当たりの費用明細（2023年10月6日から2024年1月9日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	26円	0.252%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は10,441円です。
（投信会社）	(13)	(0.121)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(12)	(0.117)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.014)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.009	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(1)	(0.009)	
（先物・オプション）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	0	0.003	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(0)	(0.003)	
（公社債）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(d) その他費用	1	0.011	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用 その他:信託事務の処理等に要するその他費用
（保管費用）	(1)	(0.010)	
（監査費用）	(0)	(0.001)	
（その他）	(0)	(0.000)	
合計	29	0.276	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

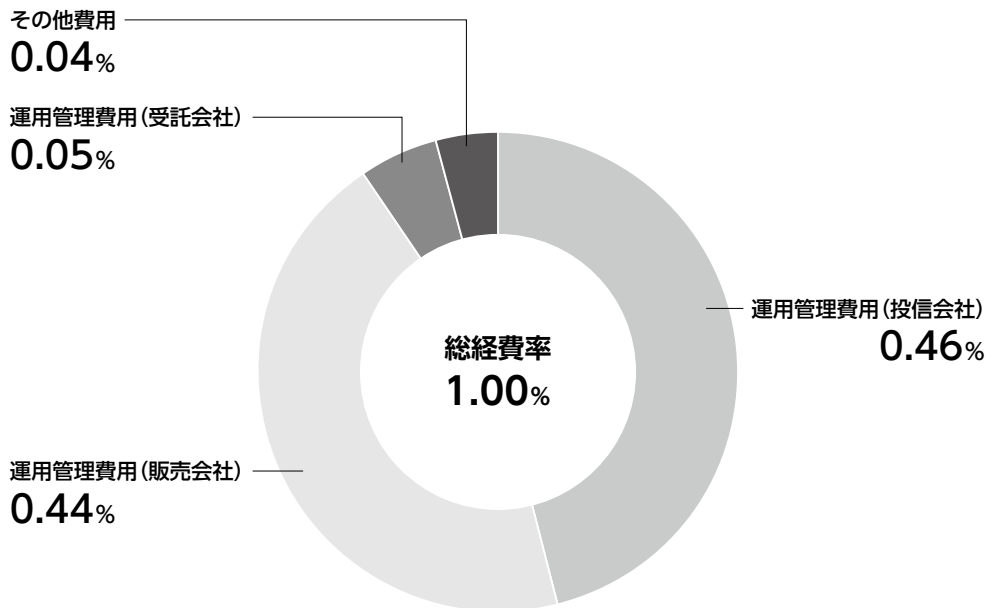
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.00%です。

グローバル好配当株オープン（年1回決算型）

■ 当期中の売買及び取引の状況（2023年10月6日から2024年1月9日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバル好配当株マザーファンド	千口 27,655	千円 119,211	千口 36	千円 163

■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2023年10月6日から2024年1月9日まで）

項 目	当 期
	グ ロ ー バ ル 好 配 当 株 マ ザ ー フ ァ ン ド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	2,190,686千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	55,825,773千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.03

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末（ただし、決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等（2023年10月6日から2024年1月9日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

（2023年10月6日から2024年1月9日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

グローバル好配当株オープン（年1回決算型）

■ 自社による当ファンドの設定・解約状況（2023年10月6日から2024年1月9日まで）

期首 (元)	残高 本)	当 元	期 元	設 元	定 元	本 元	期 元	解 元	約 元	本 元	期 元	末 元	残高 本)	取 引	の 理	由
	百万円 1			百万円 -					百万円 1				百万円 -			当初設定時または当初運用時における取得等

■ 組入れ資産の明細（2024年1月9日現在）

親投資信託残高

種 類	期 末	
	口 数	評 価 額
グローバル好配当株マザーファンド	千口 27,618	千円 121,735

※グローバル好配当株マザーファンドの期末の受益権総口数は13,495,261,079口です。

■ 投資信託財産の構成

（2024年1月9日現在）

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
グローバル好配当株マザーファンド	千円 121,735	% 99.8
コール・ローン等、その他	213	0.2
投資信託財産総額	121,949	100.0

※グローバル好配当株マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産（49,721,021千円）の投資信託財産総額（59,663,751千円）に対する比率は83.3%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=143.98円、1オーストラリア・ドル=96.81円、1香港・ドル=18.44円、1台湾・ドル=4.646円、1イギリス・ポンド=183.68円、1スイス・フラン=169.85円、1スウェーデン・クローナ=14.10円、1ユーロ=157.70円です。

グローバル好配当株オープン（年1回決算型）

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2024年1月9日現在）

項 目	期 末
(A) 資 産	121,949,131円
コー ル ・ ロ ー ン 等	50,000
グ ロー ブ ル 好 配 当 株 マ ザ ー フ ァ ン ド (評 価 額)	121,735,973
未 収 入 金	163,158
(B) 負 債	162,575
未 払 信 託 報 酬	162,015
そ の 他 未 払 費 用	560
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	121,786,556
元 本	113,103,555
次 期 繰 越 損 益 金	8,683,001
(D) 受 益 権 総 口 数	113,103,555口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	10,768円

※当期における期首元本額1,000,000円、期中追加設定元本額113,113,105円、期中一部解約元本額1,009,550円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

（自2023年10月6日 至2024年1月9日）

項 目	当 期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	2,679,762円
売 買 益	2,687,796
売 買 損	△ 8,034
(B) 信 託 報 酬 等	△ 162,575
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	2,517,187
(D) 追 加 信 託 差 損 益 金	6,165,814
(売 買 損 益 相 当 額)	(6,165,814)
(E) 合 計 (C + D)	8,683,001
次 期 繰 越 損 益 金 (E)	8,683,001
追 加 信 託 差 損 益 金	6,165,814
(配 当 等 相 当 額)	(85,000)
(売 買 損 益 相 当 額)	(6,080,814)
分 配 準 備 積 立 金	2,517,187

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	278,799円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	2,238,388
(c) 収益調整金	6,165,814
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	8,683,001
1 万 口 当 た り 当 期 分 配 対 象 額	767.70
(f) 分配金	0
1 万 口 当 た り 分 配 金	0

■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 た り 分 配 金 (税 引 前)	当 期
	0円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

グローバル好配当株マザーファンド

第37期（2023年7月11日から2024年1月9日まで）

信託期間	無期限（設定日：2005年7月22日）
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ■ 世界各国の好配当株式へ分散投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上り益の獲得を目指します。 ■ 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) MSCIワールド・インデックス (配当込み、円換算ベース)		株式組入 比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	円	騰落率	指数	騰落率			
33期（2022年1月11日）	35,552	9.1%	420.79	9.2%	93.7%	2.6%	59,583 百万円
34期（2022年7月8日）	35,850	0.8	412.75	△ 1.9	93.7	2.3	56,863
35期（2023年1月10日）	38,413	7.1	413.35	0.1	95.6	1.2	57,870
36期（2023年7月10日）	40,922	6.5	496.87	20.2	95.4	1.4	58,069
37期（2024年1月9日）	44,078	7.7	546.02	9.9	95.0	1.7	59,484

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) MSCIワールド・インデックス (配当込み、円換算ベース)		株 式 組 入 率 株 比	投 資 信 託 券 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2023年 7 月10日	円 40,922	% —	496.87	% —	% 95.4	% 1.4
7 月 末	42,614	4.1	514.12	3.5	95.4	1.4
8 月 末	42,920	4.9	522.60	5.2	95.7	1.6
9 月 末	41,984	2.6	511.46	2.9	95.3	1.5
10 月 末	40,478	△1.1	494.05	△0.6	95.8	1.5
11 月 末	43,281	5.8	532.13	7.1	96.6	1.7
12 月 末	44,315	8.3	541.90	9.1	94.7	1.8
(期 末) 2024年 1 月 9 日	44,078	7.7	546.02	9.9	95.0	1.7

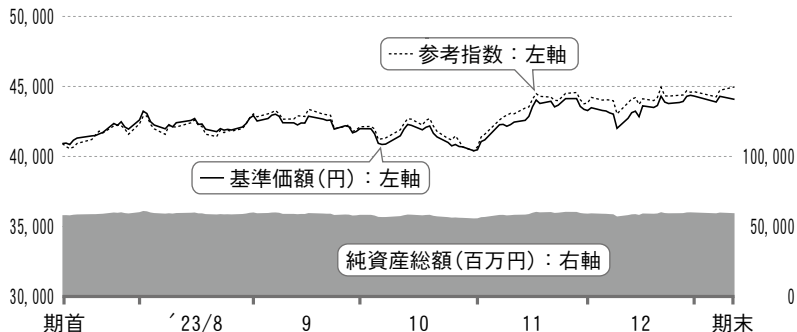
※騰落率は期首比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について（2023年7月11日から2024年1月9日まで）

基準価額等の推移



期首	40,922円
期末	44,078円
騰落率	+7.7%

※参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドの参考指数は、MSCIワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

▶ 基準価額の主な変動要因（2023年7月11日から2024年1月9日まで）

当ファンドは、世界各国の好配当株式へ分散投資し、長期的な信託財産の成長を目指して運用を行いました。

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> ・期間の後半から期末にかけて、インフレ鈍化を受けた長期金利（10年国債利回り）の低下や良好な企業業績を背景にグローバル株式市場が上昇したこと ・期間を通じて米ドルに対し、円安で推移したこと
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> ・期間の半ばから10月末にかけて、長期金利の上昇や中東における地政学リスクへの懸念からグローバル株式市場が下落したこと

▶ 投資環境について（2023年7月11日から2024年1月9日まで）

グローバル株式市場は上昇しました。また、為替市場では、米ドルに対し円安となりました。

グローバル株式市場

期初は横ばいとなりました。消費者物価指数の鈍化を受けた利上げ懸念の後退、良好な決算などが株式市場の支援材料となりました。一方、格付け会社による米国債の格下げや堅調な経済指標などをきっかけとした長期金利の上昇、中国の不動産大手のデフォルト（債務不履行）観測が重石となりました。

期中は、市場予想を上回る消費者物価指数を受けた利上げ打ち止め期待の後退から長期金利が上昇し、株式市場は上値が重い展開となりました。加えて、中東でパレスチナの武装勢力（ハマス）がイスラエルを攻撃したことによる地政学リスクの高まりも投資家心理を圧迫しました。期末にかけては、インフレ鈍化を受けた長期金利の低下や良好な企業業績を好感し上昇しました。12月中旬に開催されたFOMC（米連邦公開市場委員会）で2024年の金融緩和への転換観測が強まると一段高となりました。

為替市場

期中にかけては米ドル高・円安となりました。堅調な米景気指標などを背景に、FRB（米連邦準備制度理事会）による金融引き締め長期化観測が高まり、米金利が上昇しました。その後は、米ドル安・円高となりました。米インフレ指標の鈍化、FOMCを受けた早期の利下げ観測を受け、米金利が低下しました。また、日銀の植田総裁の発言を受けて早期のマイナス金利解除の思惑が広まりました。期初と比較して米ドル高・円安となりました。

▶ ポートフォリオについて (2023年7月11日から2024年1月9日まで)

配当利回りと同様数年の配当成長に着目し、流動性や財務安定性にも留意した運用を継続しました。また、ポートフォリオ全体としての配当利回りを一定水準以上に維持しました。期間を通じて株式組入比率は高位を維持しました。

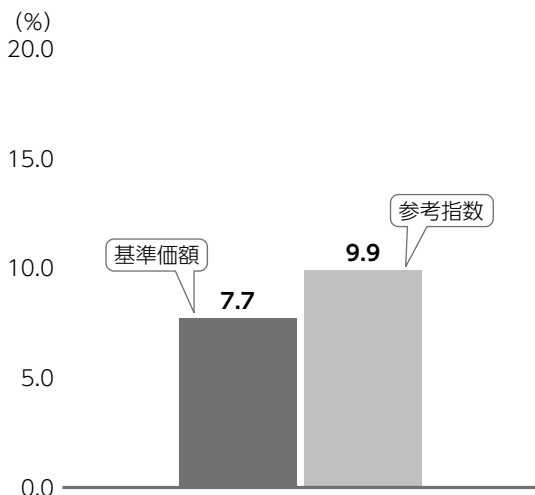
地域配分においては、北米、欧州、アジア・オセアニア地域での投資割合をほぼ均等に維持しました。

業種配分においては、エネルギーや半導体・同製造装置を多めに保有しましたが、いずれの業種においても、業績動向が比較的安定している、ディフェンシブ（景気変動の影響を受けにくい）な銘柄に軸足を置き、減配リスクを考慮した運用を行いました。具体的には、業績に鈍化がみられる高級ブランドを保有するフランスのコングロマリット（複合企業）を一部売却したほか、中国国内の軟調な輸入車販売から業績回復に時間がかかるとみられる中国の高級自動車ディーラー、不動産不況はしばらく続くとの見通しから中国の不動産大手を全売却しました。

一方、預金や貸出マージンが拡大するなど良好な業績が続く欧州の銀行、安定的な事業規模の拡大が続く、直接融資、プライベート資産や不動産などのオルタナティブ（代替）分野に強みを持つ米国の運用会社を買増しました。また、米国の住宅事業が好調なほか、環境にやさしいと注目される木材需要の長期的な増加を見込み林業や住宅・不動産事業を営む日本企業を新たに買入れました。

▶ ベンチマークとの差異について (2023年7月11日から2024年1月9日まで)

基準価額と参考指数の騰落率対比



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCIワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

2 今後の運用方針

2023年の先進国株式市場は業績改善や金融政策転換への期待から堅調に推移しました。2024年はインフレ指標の動きや米国の大統領選挙などの政治動向、地政学リスクに注意が必要ですが、金融緩和から景気回復、業績改善が見込まれます。

ディフェンシブ事業を持つ銘柄をポートフォリオの中核に置きながら、業績・配当面で上方修正の余地があると考えられる銘柄の新規組入れや保有ウェイトの引上げを検討します。

当マザーファンドは、過去の実績や経営陣の手腕などから判断する「質の高い企業」の中から、主に配当利回りと今後の配当成長性に着目し、財務の安定性や流動性を十分に考慮したうえで、世界各国の市場平均と比べて相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。また、企業の収益動向や配当政策などの変化に注目し、今後の継続的な増配が見込める企業へも投資します。引き続き、以下の3点を重視します。

1. 「経営実績や経営陣などの「会社の質」と配当実績が優れていること」
2. 「数年先までの成長持続性、売上げやキャッシュフロー成長の確実度が高いこと」
3. 「今後の資本政策、特に配当を含む株主還元のアプローチが明確なこと」

「好配当株」企業への投資は、足元の相対的な配当利回りが高いだけではなく、今後、長期にわたり増配が続くという、「配当の成長」が重要です。

優れた経営を実践している「質の高い」企業は配当政策など株主還元への姿勢も明確であり、投資家は定期的に配当収入を受け取りながら中長期の企業価値の成長（キャピタルゲイン）からも恩恵を受けることができます。

昨今の投資環境の変化を受けて、安定的な値動きに加えて、配当成長が期待できる「好配当株」投資が注目される展開を予想します。

グローバル好配当株マザーファンド

■ 1万口当たりの費用明細 (2023年7月11日から2024年1月9日まで)

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	5円 (5)	0.013% (0.013)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	2 (2)	0.004 (0.004)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	9 (9) (0)	0.020 (0.020) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送入金・資産の移転等に要する費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	16	0.037	

期中の平均基準価額は42,465円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2023年7月11日から2024年1月9日まで)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上 場	千株 90	千円 302,927	千株 -	千円 -
	外 国				
外 国	ア メ リ カ	百株 200	千アメリカ・ドル 2,174	百株 459	千アメリカ・ドル 7,457
	香 港	百株 2,000	千香港・ドル 19,443	百株 151,660	千香港・ドル 96,943
	台 湾	百株 - (127.04)	千台湾・ドル - (-)	百株 -	千台湾・ドル -
	ユ ー ロ	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ
	オ ラ ン ダ	1,500	2,009	-	-
	フ ラ ン ス	-	-	144	5,039
	ス ペ イ ン	- (△ 4,317)	- (-)	-	-

※金額は受渡し代金。

※（ ）内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2023年7月11日から2024年1月9日まで)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	4,937,299千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	56,320,083千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.08

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等 (2023年7月11日から2024年1月9日まで)

(1) 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A		うち利害関係人 との取引状況D	D C	
株 式	百万円 302	% 23.4		百万円 -	百万円 -	% -
	百万円 1,294			百万円 3,642		

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
(a) 売 買 委 託 手 数 料 総 額	7,353千円
(b) う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額	233千円
(c) (b)／(a)	3.2%

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2023年7月11日から2024年1月9日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

グローバル好配当株マザーファンド

■ 組入れ資産の明細 (2024年1月9日現在)

(1) 国内株式

銘柄	期首(前期末)	期 末	
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
建設業 (16.1%)			
住友林業	—	90	383,220
大和ハウス工業	214	214	968,350
化学 (23.4%)			
信越化学工業	352.5	352.5	1,957,080
機械 (25.4%)			
ディスコ	61.5	61.5	2,127,285
電気機器 (10.0%)			
アズビル	170	170	837,760
その他製品 (6.6%)			
パンダYNAMコホールディングス	189	189	549,234

銘柄	期首(前期末)	期 末	
	株数	株数	評価額
保険業 (10.3%)			
東京海上ホールディングス	240	240	859,680
その他金融業 (8.2%)			
オリックス	251	251	689,497
		千株	千株
合計	株数・金額	1,478	1,568
	銘柄数<比率>	7銘柄	8銘柄
			千円
			8,372,106
			<14.1%>

※銘柄欄の () 内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

※< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(2) 外国株式

銘柄	期首(前期末)	期 末		業 種 等
	株数	株数	評価額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	
JPMORGAN CHASE & CO	576.8	576.8	9,922	銀行
BROADCOM INC	86	86	9,243	半導体・半導体製造装置
EXXON MOBIL CORP	1,210	1,210	12,211	エネルギー
AMERICAN WATER WORKS CO INC	601	546	7,263	公益事業
NEXTERA ENERGY INC	1,178	1,178	7,411	公益事業
HOME DEPOT INC	412.2	390.2	13,576	一般消費財・サービス流通・小売り
BOOZ ALLEN HAMILTON HOLDINGS	583.85	583.85	7,413	商業・専門サービス
MCDONALD'S CORP	202	202	5,896	消費者サービス
MERCK & CO. INC.	200	200	2,347	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	640	560	5,392	食品・飲料・タバコ
ARES MANAGEMENT CORP - A	500	700	8,326	金融サービス
PEPSICO INC	130	130	2,198	食品・飲料・タバコ
CHEVRON CORP	1,071	1,071	16,011	エネルギー
TEXAS INSTRUMENTS INC	810	810	13,651	半導体・半導体製造装置
UNITEDHEALTH GROUP INC	200	188	10,086	ヘルスケア機器・サービス
PNC FINANCIAL SERVICES GROUP	140	—	—	銀行
ANALOG DEVICES INC	688.3	688.3	13,007	半導体・半導体製造装置
AVERY DENNISON CORP	150	—	—	素材
CINTAS CORP	58	58	3,387	商業・専門サービス
MICROSOFT CORP	50	50	1,873	ソフトウェア・サービス
小 計	株数・金額	9,487.15	9,228.15	21,485,025
	銘柄数<比率>	20銘柄	18銘柄	<36.1%>

グローバル好配当株マザーファンド

銘柄	株数	期首(前期末)	期末		業種等	
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(オーストラリア) BHP GROUP LTD	百株 2,372.4	百株 2,372.4	千オーストラリア・ドル 11,544	千円 1,117,584	素材	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,372.4 1銘柄	2,372.4 1銘柄	11,544 —	1,117,584 <1.9%>	
(香港) CHINA MEIDONG AUTO HOLDINGS CHINA WATER AFFAIRS GROUP AIA GROUP LTD ANTA SPORTS PRODUCTS LTD TECHTRONIC INDUSTRIES CO LTD LONGFOR GROUP HOLDINGS LTD BOC AVIATION LTD	百株 45,000 100,000 8,700 1,660 — 25,000 10,500	百株 — 20,000 8,700 — 2,000 — 10,500	千香港・ドル — 8,900 54,810 — 17,030 — 59,902	千円 — 164,116 1,010,696 — 314,033 — 1,104,602	一般消費財・サービス流通・小売り 公益事業 保険 耐久消費財・アパレル 資本財 不動産管理・開発 資本財	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	190,860 6銘柄	41,200 4銘柄	140,642 —	2,593,447 <4.4%>	
(台湾) CHAILEASE HOLDING CO LTD TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	百株 6,352.16 12,741.31	百株 6,479.2 12,741.31	千台湾・ドル 120,513 742,818	千円 559,903 3,451,134	金融サービス 半導体・半導体製造装置	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	19,093.47 2銘柄	19,220.51 2銘柄	863,331 —	4,011,038 <6.7%>	
(イギリス) ASHTHEAD GROUP PLC ASTRAZENECA PLC ANGLO AMERICAN PLC	百株 1,800 891 1,890.54	百株 1,800 891 1,890.54	千イギリス・ポンド 9,100 9,597 3,491	千円 1,671,634 1,762,933 641,309	資本財 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス 素材	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	4,581.54 3銘柄	4,581.54 3銘柄	22,190 —	4,075,877 <6.9%>	
(スイス) PARTNERS GROUP HOLDING AG SIKA AG-REG	百株 20 255	百株 20 255	千スイス・フラン 2,334 6,494	千円 396,429 1,103,150	金融サービス 素材	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	275 2銘柄	275 2銘柄	8,828 —	1,499,580 <2.5%>	
(スウェーデン) ASSA ABLOY AB-B	百株 3,140	百株 3,140	千スウェーデン・クローナ 89,050	千円 1,255,610	資本財	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,140 1銘柄	3,140 1銘柄	89,050 —	1,255,610 <2.1%>	
(ユーロ…オランダ) ING GROEP NV ASML HOLDING NV	百株 1,800 40	百株 3,300 40	千ユーロ 4,367 2,613	千円 688,710 412,164	銀行 半導体・半導体製造装置	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,840 2銘柄	3,340 2銘柄	6,980 —	1,100,875 <1.9%>	
(ユーロ…フランス) TOTALENERGIES SE TELEPERFORMANCE	百株 3,760 94	百株 3,760 —	千ユーロ 22,766 —	千円 3,590,324 —	エネルギー 商業・専門サービス	

グローバル好配当株マザーファンド

銘柄	株数	期首(前期末)	期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
AIR LIQUIDE SA	517	517	8,853	1,396,135	素材	
SCHNEIDER ELECTRIC SE	660	660	11,498	1,813,316	資本財	
L'OREAL	199	199	8,725	1,375,956	家庭用品・パーソナル用品	
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	85	35	2,419	381,563	耐久消費財・アパレル	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	5,315 6銘柄	5,171 5銘柄	54,263 —	8,557,296 <14.4%>	
(ユーロ…ドイツ)		百株	百株	千ユーロ	千円	
DEUTSCHE TELEKOM AG-REG		3,460	3,460	7,798	1,229,877	電気通信サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,460 1銘柄	3,460 1銘柄	7,798 —	1,229,877 <2.1%>	
(ユーロ…スペイン)		百株	百株	千ユーロ	千円	
IBERDROLA SA-RTS		4,317	—	—	—	公益事業
IBERDROLA SA		4,317	4,317	5,178	816,608	公益事業
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	8,634 2銘柄	4,317 1銘柄	5,178 —	816,608 <1.4%>	
(ユーロ…オーストリア)		百株	百株	千ユーロ	千円	
BAWAG GROUP AG		500	500	2,435	383,999	銀行
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	500 1銘柄	500 1銘柄	2,435 —	383,999 <0.6%>	
ユーロ通貨計	株数・金額 銘柄数<比率>	19,749 12銘柄	16,788 10銘柄	76,656 —	12,088,656 <20.3%>	
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	249,558.56 47銘柄	96,805.6 41銘柄	— —	48,126,820 <80.9%>	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

グローバル好配当株マザーファンド

(3) 外国投資信託証券

銘 柄	口 数	期首(前期末)	期 末		組 入 比 率	
		口 数	評 価 額			
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
(オーストラリア) GOODMAN GROUP	口 数	口 数	千オーストラリア・ドル	千円	%	
	433,540	433,540	10,391	1,006,045	1.7	
小 計	口 数 ・ 金 額	433,540	433,540	10,391	1,006,045	1.7
	銘 柄 数 <比 率>	1銘柄	1銘柄	<1.7%>		
合 計	口 数 ・ 金 額	433,540	433,540	—	1,006,045	1.7
	銘 柄 数 <比 率>	1銘柄	1銘柄	<1.7%>		

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※〈 〉内は、純資産総額に対する評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

■ 投資信託財産の構成

(2024年1月9日現在)

項 目	期	末
	評 価 額	比 率
株 式	千円	%
	56,498,926	94.7
投 資 証 券	1,006,045	1.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	2,158,779	3.6
投 資 信 託 財 産 総 額	59,663,751	100.0

※期末における外貨建資産（49,721,021千円）の投資信託財産総額（59,663,751千円）に対する比率は83.3%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=143.98円、1オーストラリア・ドル=96.81円、1香港・ドル=18.44円、1台湾・ドル=4.646円、1イギリス・ポンド=183.68円、1スイス・フラン=169.85円、1スウェーデン・クローナ=14.10円、1ユーロ=157.70円です。

グローバル好配当株マザーファンド

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年1月9日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	59,663,751,451円
コール・ローン等	2,073,522,455
株式(評価額)	56,498,926,414
投資証券(評価額)	1,006,045,047
未収配当金	85,257,535
(B) 負 債	179,166,339
未払解約金	179,162,048
その他未払費用	4,291
(C) 純資産総額(A-B)	59,484,585,112
元 本	13,495,261,079
次期繰越損益金	45,989,324,033
(D) 受益権総口数	13,495,261,079口
1万口当たり基準価額(C/D)	44,078円

※当期における期首元本額14,190,053,643円、期中追加設定元本額59,531,043円、期中一部解約元本額754,323,607円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

グローバル好配当株オープン	13,212,422,072円
グローバル資産分散オープン	255,048,761円
グローバル好配当株オープン(年1回決算型)	27,618,307円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ お知らせ

<約款変更について>

・デリバティブ取引の利用目的を明確化するため、信託約款に所要の変更を行いました。

(適用日：2023年12月20日)

■ 損益の状況

(自2023年7月11日 至2024年1月9日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	669,808,438円
受 取 配 当 金	658,411,790
受 取 利 息	11,604,479
そ の 他 収 益 金	234
支 払 利 息	△ 208,065
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	3,716,143,283
売 買 益	5,932,447,445
売 買 損	△ 2,216,304,162
(C) そ の 他 費 用 等	△ 11,865,243
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	4,374,086,478
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	43,879,162,189
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 2,457,479,309
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	193,554,675
(H) 合 計(D+E+F+G)	45,989,324,033
次 期 繰 越 損 益 金(H)	45,989,324,033

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。